

夢のあるまちづくりを市民の皆さまと

議会だより

声のかけ橋

第47号

平成27年11月1日発行
豊後大野市議会

議会版事務事業評価実施 6
平成26年度決算を認定 8
10名の議員が市政を問う 13

キラリ☆ひと言

28



みんなで千歳おどり唄（千歳小学校運動会）

平成27年第3回定例会

(会期 9月1日～30日)

9

月1日から第3回定例会が開かれ、今定例会

には決算認定や個人情報保護条例の一部改正など議案26件、報告3件、認定11件、諮問3件が提出されました。

15日からは各常任委員会が付託された議案などを慎重に審査しました。また、各常任委員会では、今年から議会版事務事業評価に取り組み、委員会としての評価を取りまとめ、本会議で評価報告を行いました。

最終日には、提出された議案や認定など、それぞれ原案のとおり可決されました。

今定例会には、延べ61人の方々が傍聴に訪れました。

平成27年度 一般会計補正予算(第2号)

14億4970万2千円

追加

《一般会計予算総額》

259億5857万円

主な事業

防犯対策事業



428万9千円追加

防犯灯施設整備事業において、地域からの要望を集約した結果、不足を生じたため。

オリジナル住宅構想事業



1613万8千円追加 (新規)

旧大野高校跡地の開発行為に係る経費の追加補正。

戸籍、住民基本台帳等管理事業

1741万4千円追加

マイナンバー制度導入に伴う追加補正。

市道維持管理事業

2億650万5千円追加

維持補修工事等の増に伴う増額補正。

菅尾住宅 3 期建替工事に係る工事請負契約を締結



要件設定型一般競争入札（総合評価落札方式）により落札した恵藤建設株式会社と 1 億 9103 万 8 千円で契約を締結しました。

【概要】

建築構造：鉄筋コンクリート造 4 階建て

延べ床面積：1190.32㎡

入居戸数：16 戸

間取り：3LDK、2LDK

竣工予定：平成 28 年 11 月頃

豊後大野市支所設置条例の一部改正

大野支所を旧大野保健センターの建物に移転



旧大野保健センター



現在の大野支所庁舎

施 設の老朽化等の理由により、豊後大野市大野支所を旧大野保健センターの建物に移転するものです。なお、移転の時期は平成 28 年 2 月を予定しています。移転後、大野支所庁舎は早期に解体を検討しています。

豊後大野市児童館条例の一部改正

三重ふれあい児童館を旧三重介護予防拠点施設 ひなたぼっこの建物に移転



旧三重介護予防拠点施設ひなたぼっこ

公 共施設の見直しに関する指針等に基づき、三重ふれあい児童館を旧三重介護予防拠点施設ひなたぼっこの建物に移転するものです。

総務 常任委員会

委員会審査報告

厚生文教 常任委員会

●財産の無償譲渡 (旧米山中学校木工室棟)

認可地縁団体である上緒方振興協議会から、木工室棟を新たな拠点施設として活用したい旨の要望があったことから、上緒方振興協議会に無償で譲渡するものです。委員会では、審査に先立ち、会期中に現地調査を実施しました。

質 陳情をしなかったら、寄宿舎を壊すのか。

答 解体するのは、旧米山中学校校舎。解体時期は、今後検討する。その際、地元が寄宿舎を新たに使用したいということであれば、無償譲渡になるだろう。



●個人情報保護条例の一部改正

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律が一部の規定を除き、平成27年10月5日から施行されることに伴い、同法に基づく特定個人情報取り扱い等に関し必要な事項について条例整備の必要があるものです。

質 戸籍関係などで、なりすまし事件が起こったときには、誰が責任をとるのか。

答 犯罪に使われた場合、それは第一義的に犯罪行為を行った者の責任になる。当然、なりすましを防ぐための努力はしなければならぬし、制度上もまた電算システム上もそういったことを防ぐ目的で今改修を進めているところである。

【付託議案の審査結果】
議案5件と請願1件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決、採択すべきとなりました。

●不妊治療費助成に関する条例の一部改正

本年10月1日から大分県の不妊治療費助成事業の制度が改正され、特定不妊治療は新たに年齢制限や所得制限を設けた上で大分県が一括で実施し、県内各市町村がその実績に応じて当該経費の一部を負担する制度に移行すること、特定不妊治療を望む夫婦の自己負担の軽減、助成要件の緩和、事務手続きの負担軽減等が図られることから条例の一部改正を行うものです。

質 制度改正によって利用者が増える見込みはあるのか。

答 窓口が一本化されることで、広く市民の方に制度について周知できるのではないかと思う。金額の上限ではなく、回数上限に変わるの、必要な時期に受ける治療が続いて受けられる、また、夫婦の意志に沿った内容に少し変わっていくのではないかと思っている。

●奨学金・入学準備金貸付基金条例の一部改正

三重総合高校に在学する者に限り、奨学金と入学準備金を貸し付けるということで、学校支援の意味も含めて、平成23年度に設立され、基金の額として5千万円を積み立てておりますが、利用が伸び悩んでいる状況であり、基金の額を1千万円に減額して運用するものです。

質 利用が少ない問題点をどのようにとらえているのか。

答 国、県や大分県奨学会の奨学金が利用できること、高校の授業料が無償化されたこと、さらに、非課税世帯に限り返還義務のない給付制度が新しくできたことにより、それらの利用が多いようである。しかし、準備金はほかにはない制度なので、潜在的に利用があるのではないかと考える。

【付託議案の審査結果】
議案10件を付託され、慎重審査を行い、それぞれ可決すべきとなりました。

産業建設 常任委員会

市道路線の廃止

市道 4 路線の廃止が提案され、廃止の主な理由は、中山間地域総合整備事業で改良に伴うものと、改良が済み県から譲与を受け、譲与部分と現市道部分を同一路線として認定するために一旦現市道部分を廃止するものです。

質 芦刈中央線は踏切箇所が斜めになっていて非常に危ないが、これが直線的に改良される予定か。

答 直線的に改良して、現道から最終的に 326 号線に出てくる形です。



市道芦刈中央線

平成 27 年度簡易水道
特別会計補正予算（第 1 号）

補正の主な理由は、歳出では、修繕料 1329 万 5 千円、通信運搬費 13 万 4 千円、中九州道の工事に伴う水道管移設工事請負費 108 万 7 千円及び、千歳簡水の老朽化した遠方監視システムの取り替えに伴う水道施設工事請負費 594 万円の追加補正です。歳入では、前年度繰越金 1975 万円及び移転補償費 70 万 6 千円の追加補正です。

【付託議案の審査結果】

議案 7 件を付託され、慎重審査の結果、それぞれ可決、すべきとしました。

人権擁護委員候補者の推薦

かね こ あき こ
金 子 明 子 氏

【朝地町市万田】

生年月日 昭和 23 年 11 月 26 日

任期 自：平成 28 年 1 月 1 日
至：平成 30 年 12 月 31 日

ふさ まえ こ
房 前 けい子 氏

【犬飼町下津尾】

生年月日 昭和 26 年 9 月 27 日

任期 自：平成 28 年 1 月 1 日
至：平成 30 年 12 月 31 日

くら はら ふみ こ
倉 原 文 子 氏

【清川町雨堤】

生年月日 昭和 20 年 9 月 27 日

任期 自：平成 28 年 1 月 1 日
至：平成 30 年 12 月 31 日

人事案件

適任

議会版事務事業評価を実施

議

会版事務事業評価は、2年間にわたる議会

活性化委員会の調査結果の1つとして、議会で取り組む必要があるとの報告を受け、今定例会から試行的に議会版事務事業評価を行いました。

これまで常任委員会の所管事務調査として取り組んできた事務事業評価は、あくまでも執行部が実施した事務事業評価に対して各議員が意見するのみで終わっていました。

議会版事務事業評価を議会という機関の意思として、執行部に提案することは、政治的效果を持たせ、非常に有意義なことであり、その提案がどのようにに対応されたのか報告を求めることは、議会提案の実効性を高めるものです。

各委員会1事業を選定

本年の取り組みとしては、各常任委員会で1事業ずつ選定することとし、総務常任委員会は防犯灯施設整備事業、厚生文教常任委員会は児童生徒農業体験活動事業、産業建設常任委員会は鳥獣被害パトロール事業を選びました。

評価は、拡充、継続、改善、縮小、終了、休止、廃止の7段階で行い、委員会としての評価結果を9月30日の本会議で委員長が報告しました。

後日、評価報告書を議長から市長へ手渡し、改善策や、予算への反映状況などを2月下旬までに報告するよう求めました。

事業評価の流れ

【1日目】

●対象事業の説明

議会で作成した評価シートを基に執行部から詳しく事業説明を受け、質疑応答を行いました。

●個人評価を実施

執行部の説明を受け、議員個人ごとに評価を行いました。

【2日目】

●委員評価への自由討議

1日目の議員個人ごとの評価に基づき、委員相互に意見を出し合い議論しました。

●委員会の合意形成

委員会の評価を出すため、委員間で合意形成を図り意見をまとめました。

【3日目】

●評価報告書作成

委員会での意見をまとめ、委員会としての評価を決定し、報告書を作成しました。



3日目 評価報告書作成



2日目 委員間で自由討議



1日目 執行部から事業説明

総務常任委員会

【調査事業】

防犯灯施設整備事業

【委員会評価】

改善・効率化し継続

【評価報告（一部）】

本事業は夜間における歩行者等の安全性を高めるとともに、市民を犯罪から守るため、自治会からの要望により防犯灯の新設及び更新を行うものです。

本事業は市民の安心安全、また地球温暖化の

防止にも効果があり、必要性や緊急性が高いことが認められます。よって継続としますが、スピー

ド感を持つて全市に事業の成果が幅広くいきわたるよう、事業を改善、効率化することを求めます。

特に、通学路や危険箇所は速やかな設置が求められています。

この2年でLED防犯灯の設置が進捗します

が、各町における設置率や自治会間の取り組み状況に差異があります。こ

れは自治会の財政状況、高齢化、箇所付け、設置に対する意識などに

差があるためと判断します。基本的に自治会が主体となり設置しています

が、積極的な取り組みが進展するよう、事業の改善及び効率化を図るとともに、防犯灯の設置の意義や配置間隔など適正な

設置の基準及び本事業の事業内容について、幅広く市民に周知する必要がある

一方、市の管理分の

防犯灯のLED化については、厳しい財政状況の下、自治会の管理分を優先しているため、進捗して

おりません。環境省において自治体保有の街路灯にLEDを導入する際の

費用を支援する方針を固めたとの報道もあります。国の動向を注視するとともに、市の管理分の

防犯灯についても、市民の安全安心のためにも計画的に取り組むことを求め

ます。

厚生文教常任委員会

【調査事業】

児童生徒農業体験活動事業

【委員会評価】

現状のまま継続する

【評価報告（一部）】

本事業は、学年や時間が限られている総合学習等の取り組みと異なり、植付や収穫だけでなく栽培、除草、炭焼き、加工、販売といった年間を通した作業を行うなど、家庭や学校では体験

できない活動もあり、農業の大変さや楽しさ、喜び、達成感を味わうことができるという点でも

教育的効果は高い。不登校の子どもへの支援に結びついた実績も高く評価できると考えま

す。また、農林業は本市の基幹産業であり、子どものときから体験をすること、農林業に対する理解や支援、子どもたちの将来につながるこ

とが期待されます。よって、委員会評価は継続と

します。

緑の奨学会の会員は55名ほどおり、退職・現職の教職員ということ

で、子どもへの対応については専門性があり、経験豊富なため心強い面があるものの、農業分野

の知識や指導力に加え、農機具等も求められます。さらに、作業の内容や圃場の確保、作業時の

ると考えます。

市は、事業としては継続すべきであり、各町、各学校からまんべ

なく1人でも多くの子どもが効率的に参加できるような方法論を考

えるとともに、今後懸念される指導者の人材不足の問題に対応できるよう、緑の奨学会との連携、農業法人や農業関係者、地域、外部の団体と

産業建設常任委員会

【調査事業】

鳥獣被害パトロール事業

【委員会評価】

現状のまま継続する

【評価報告（一部）】

本事業を現状のまま継続していくことが妥当であると判断しました。

近年、鳥獣被害は拡大傾向にある中、パトロール委託事業を強化するとともに、電気柵の

安全性を確保することは、被害の抑止に有効であり、農林業を基幹産業とする本市にとって、必要性は非常に高いものであります。

また、電気柵等のパトロールのうち、約80%が設置指導を行われていることは、安全に設置されていると一定の評

価ができますが、電気柵の感電事故が起きぬよう、設置者が安全に設置し住民が安全に暮らせるために、さらなる指導、啓発が必要です。

に大きな影響を及ぼし、被害防止は喫緊の課題です。被害防止は農家にとつて大きな期待があり、5つの評価から緊急性も高く他の事業に優先する事業と判断しました。

最後に、本事業について2点改善検討されるよう提案します。

1点目は、効果的な事業とするために、事業の検証に必要な被害箇所や市内調査箇所数、指導項目ごとの数など、調査にかかる数値を見えるようにすることが必要です。2点目は、農繁期に臨時職員2名体制の現状で市内全域を網羅することは難しく、人員の増員など検討し、効果的な運営を行う必要があると考えます。

全ての農家が鳥獣対策の要望が大であり、農業所得向上のため、喫緊の課題であり、パトロール委託事業の効率性を高め、本市の鳥獣被害農家の期待に応えるべきであります。

平成26年度 決算 認定

一般会計歳出決算は前年度に比べ7億6703万円増額

決算特別委員会（佐藤辰己委員長）が、9月24日と25日の2日間にわたり開催され、一般会計、特別会計、上水道・病院事業特別会計の決算を審査しました。

いずれも慎重審査の結果、認定すべきものと決定し、9月30日の本会議で採決の結果、認定されました。



監査委員の意見 普通交付税の段階的縮減が始まった

平成26年度の一般会計及び8特別会計の決算については、いずれも黒字決算であった。

財政状況を客観的に表す健全化判断比率の各比率すべてにおいて、国の示す早期健全化基準以下であり、良好といえる。経常収支比率（85・6％）も前年度より好転しており、財政は健全化の方向にあると認められた。

基金については、28基金で、前年度より19億6723万円増加し、188億6419万円となっている。

一方、地方債については、前年度より4億82万4千円増加し、357億565万5千円となっている。

市税など自主財源比率は21・1％（前年度23・1％）と依然厳しい状況である。さらに平成27年度から普通交付税の段階的縮減が始まった。

このような財政状況の中で各会計における税や保険料、使用料等では多くの未収金が生じている。負担の公平性、財政の健全性を維持するために今後とも収納率向上の取り組みが必要である。

地方公営企業会計については、上水道事業は当年度純利益を計上しているものの、病院事業は会計基準の見直しの影響などで1億8946万4千円の当期純損失があり、経営改善の取り組みを期待する。

今後も行財政改革に取り組む、将来の市財政の健全性を確保し、住民福祉向上のために各種施策に取り組むことを希望する。



益永孝則代表監査委員

《各会計の決算状況》

会計名		歳入	歳入前年度比	歳出	歳出前年度比
一般会計		282億760万4千円	+8億5258万8千円	266億1753万5千円	+7億6703万6千円
特別会計	国民健康保険	54億773万5千円	+890万3千円	52億8656万7千円	+4265万5千円
	後期高齢者医療	5億5733万7千円	-1189万9千円	5億5452万8千円	-1233万円
	介護保険	65億2990万1千円	-3456万円	62億5680万8千円	-1億5930万円
	農業集落排水	2億3991万8千円	-24万4千円	2億3825万9千円	+370万6千円
	公共下水道	9249万5千円	-751万9千円	8590万7千円	-779万9千円
	浄化槽施設	4925万3千円	+100万4千円	4760万9千円	+87万6千円
	簡易水道	3億1982万9千円	-1367万8千円	2億9807万9千円	-1512万円
	太陽光発電事業	2億523万2千円	-5億6786万2千円	1億8639万5千円	-5億206万6千円
	計	134億170万円	-6億2585万4千円	129億5415万2千円	-6億4937万8千円
合計		416億930万3千円	+2億2673万2千円	395億7168万7千円	+1億1765万8千円

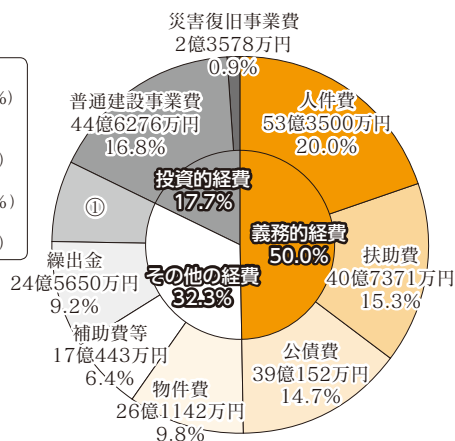
会計名			歳入	歳入前年度比	歳出	歳出前年度比
企業会計	上水道	収益的収支	2億6912万1千円	+1711万9千円	2億38万3千円	+1322万9千円
		資本的収支	14億4050万1千円	+8億8395万7千円	16億2173万6千円	+9億5022万6千円
	病院事業	収益的収支	34億3302万2千円	+3億4409万7千円	36億2248万6千円	+4億1848万2千円
		資本的収支	1億7356万3千円	-2億2676万5千円	2億7103万7千円	-2億4829万6千円

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計が一致しない箇所があります。

《一般会計決算の内訳》

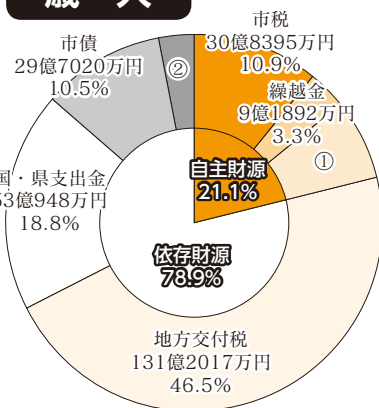
歳出

- ①その他の経費
18億3643万円(6.9%)
- 【内訳】
 - ◆維持補修費
1億2024万円(0.5%)
 - ◆積立金
15億8432万円(6.0%)
 - ◆投資・出資金・貸付金
1億3186万円(0.5%)



合計 266億1753万円

歳入



合計 282億760万円

- ①その他自主財源
19億5311万円(6.9%)
- 【内訳】
 - ◆分担金及び負担金
4億6693万円(1.7%)
 - ◆使用料及び手数料
4億9605万円(1.8%)
 - ◆財産収入
4億2942万円(1.5%)
 - ◆寄附金
1293万円(0.0%)
 - ◆繰入金
2億8064万円(1.0%)
 - ◆諸収入
2億6715万円(0.9%)
- ②その他依存財産
8億5177万円(3.0%)
- 【内訳】
 - ◆地方譲与税
3億3523万円(1.2%)
 - ◆地方交付金
5億1655万円(1.8%)

地方債(借金)

一般会計・特別会計

会計名	25年度末現在高	26年度末現在高
一般会計	277億9546万6千円	271億6315万5千円
特別会計		
介護保険	4333万3千円	0円
農業集落排水	12億1054万3千円	11億3860万2千円
公共下水道	4億5946万5千円	4億1489万6千円
浄化槽施設	6777万3千円	6043万2千円
簡易水道	13億6191万9千円	12億5287万円
上水道	12億8283万7千円	26億7957万4千円
病院事業	30億8349万5千円	29億9612万6千円
合計	353億483万1千円	357億565万5千円

基金(貯金)

一般会計・特別会計

基金名	25年度末現在高	26年度末現在高
一般会計		
財政調整基金	55億7828万2千円	61億6950万7千円
減債基金	17億9449万9千円	17億9634万円
その他特定目的基金	81億4549万1千円	96億1989万2千円
その他定額運用基金	7億2083万円	7億2083万円
特別会計		
国民健康保険基金	6976万6千円	2479万4千円
高額療養費貸付基金	500万円	500万円
出産資金貸付基金	300万円	300万円
介護給付費準備基金	4億3131万9千円	4億948万5千円
農業集落排水事業基金	5005万6千円	1572万6千円
公共下水道事業基金	418万7千円	418万8千円
浄化槽整備推進事業基金	240万9千円	326万7千円
簡易水道事業基金	9212万1千円	9216万1千円
合計	168億9696万円	188億6419万円

特別会計の主な質疑

9月24日、各特別会計の決算審査を行いましたので、質疑の一部をお知らせします。

介護保険特別会計
適正な保険給付を
質疑

保険給付費が当初予算より少なくなった要因は。

【答弁】

主な要因は、要介護認定率の低下、認定調査の直営の継続で認定の一律化、公平化が保たれていること、介護予防の取り組みが市民に浸透してきていることなどです。

浄化槽施設特別会計
知恵を絞り維持費減を
質疑

浄化槽の維持費が上がっているが、解消方法は。

【答弁】

対価の費用ということで使用料は設定しています。

病院事業特別会計
将来を見据え経営を
質疑

公立病院では経営改善が難しいなら、独立行政法人などの方法もあるが、将来の考えは。

【答弁】

独立行政法人化するには、それしか道がないと判断したときにはそれも考えますが、現時点では今の病院の仕組みを少しずつ変化させながら、診療内容を変えて、効率よく収益が上がる方法を継続させて経営を安定させたいと考えます。



決算特別委員会 一般会計の主な質疑

9月25日、決算特別委員会で平成26年度一般会計の決算認定について審査しましたので、質疑の一部をお知らせします。

2款総務費 積極的に活用を

質疑

イメージキャラクターのヘプタゴン、なばっピーの製作費用と活用状況は。

答弁

製作費用はヘプタゴンが59万4千円、なばっピーが54万円です。ヘプタゴン、なばっピーは市内外のイベントに積極的に参加し、豊後大野市をPRし活用したいと考えます。活用状況は29回の貸し出し、県のゆるきやらイベントの参加などしています。



ヘプタゴン(左)となばっピー(右)

利用者数増の努力を

質疑

エイトピアの年間利用者数が平成25年度に比較して減少しているが原因は。

答弁

平成26年度の利用者数の数え方がこれまでとは、その他施設(駐車場、エントランス)の関係などをカウントし

ていましたが、昨年度のケイミックスの報告では、この分が抜けていたのが減少の一因になっています。それから、一番大きい原因として大ホールの使用人数が6094人減少しているのが大きいところです。



3款民生費

保育料の徴収に本腰入れて取り組みを

質疑

保育料の徴収方法は。

答弁

収納は原課による電話での督促、滞納整理行動の他、各保育所、幼稚園を運営している法人と収納の委託契約を結び、収納促進を行っています。また、児童手当からの振替を本人の了解をもらって収納に結びつけています。

子育て環境の整備を

質疑

3歳未満児の利用受け入れの課題と対応は。

答弁

課題として、3歳未満児の待機児童が発生しています。3歳未満児の受け入れは保育士が数多く必要です。保育士の数を増やしていく方向で、待機児童の解消につなげていきたいことから保育所と協議しています。

9款消防費

消防団員のなり手を

質疑

消防団員の定数と現団員数及び費用弁償の目的は。

答弁

定数は1321人で実団員数は1259人です。訓練等の費用弁償は訓練を6回、災害等の緊急出動が48回ありました。また、昨年度は操法大会がありましたので各方面団、方面隊で独自の訓練を行っていますので、それに1人1回2千円を支出しています。



10款教育費

給食費収納の努力を

質疑

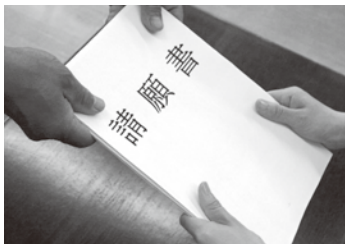
給食費の収納状況、学校との連携、収納率向上のための今後の取り組みは。

答弁

給食費は児童手当の充当もあり、例年99%くらいの収納ができています。残り1%の方は税務課と一緒に滞納整理を進めています。学校との連携は、校長会で滞納対策の協力を毎年要請しています。今後の取り組みは、期限内に給食費を納めていただけない方は督促状や催告書の送付、また職員が個別訪問して納付のお願いなどを行っています。



あなたの意見や要望



請願・陳情

●戦争につながる安全保障
関連2法案（国際平和支
援法案、平和安全法制整
備法案）の慎重審議を求
める請願

本請願は豊後大野九条の
会（紹介議員宮成昭義、神
志那文寛、工藤友生）から
請願が提出されました。

【請願趣旨（一部）】

国会及び政府に安保関連
法案を徹底審議し今国会で
の可決はしないこと、60日
ルールを使わず継続審議ま
たは廃案にすることなどを
求める意見書の提出を請願
するものです。

本請願は委員会付託を省
略し、9月11日の本会議に
おいて請願の趣旨説明、質
疑、討論、表決を行いました。

【9月11日に表決】

賛成少数で



●請願

本請願は大分県地方自治
研究センター（紹介議員宮
成昭義）から請願が提出さ
れました。

【請願趣旨（一部）】

地方財政の充実・強化を
求める意見書の提出を請願
するものです。

【9月30日に表決】

全会一致で



議員発議で本請願の意見
書（地方財政の充実・強化
を求める意見書）を提出し、
全会一致で可決、国の関係
機関へ意見書を送付しまし
た。

政治倫理審査会の調査結果のお知らせ

豊後大野市政治倫理条例第7条第5項及び豊後大野市政治倫理施行規則第9条第1項の規定により概要を掲載します。

審査対象人小野勇治氏が、市有地の一般競争入札において陳情者の代理人となり、陳情者から入札への代理参加及び落札の謝礼として、現金を受け取ったことが、政治倫理条例第2条、同第4条及び豊後大野市議会基本条例第24条に違反するとの疑いで、調査請求があったため、平成27年6月26日に豊後大野市政治倫理審査会に当該調査を求めたものである。

平成27年8月28日に豊後大野市政治倫理審査会より、審査対象者は、平成26年4月23日の市有地の一般競争入札において、陳情者の代理人となり、陳情者から入札への代理参加及び落札の謝礼として、平成27年2月24日に現金を収受した。

同行為は条例第4条第1項第1号及び同条項第2号に違反し、豊後大野市議会基本条例第24条に違反する。

との報告書を受け取りました。

各議員の議案に対する賛否の状況（平成27年 第3回定例会）

※○＝賛成 ×＝反対 退＝退席 欠＝欠席 除＝除斥 小野順一議員は議長職のために表決権はありません。

会 派 名		議決 結果	議決 年月日	清風クラブ					緑政会			市民クラブ			政友会	三岳会		神志 那文 寛				
議員名				佐藤 徳宣	渡辺 一文	生野 照雄	宮成 寿男	高山 豊吉	小野 泰秀	小野 勇治	首藤 正光	内田 俊和	川野 優治	衛藤 竜哉	宮成 昭義	恵藤 千代子	朝倉 秀康		工藤 友生	長野 健児	沓掛 義範	赤峰 映洋
件 名				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
工事請負契約の締結		可決	9月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦（諮問第1号）		適任	9月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦（諮問第2号）		適任	9月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦（諮問第3号）		適任	9月1日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野勇治議員に対する議員辞職勧告決議		可決	9月11日	欠	欠	○	×	欠	○	除	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○
戦争につながる安全保障関連2法案（国際平和支援法案、平和安全法制整備法案）の慎重審議を求める意見書提出を求める請願		不採択	9月11日	×	×	×	×	×	退	×	×	×	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○
平成26年度一般会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成26年度農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度公共下水道特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度浄化槽施設特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度簡易水道特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度太陽光発電事業特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度上水道特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度病院事業特別会計歳入歳出決算認定		認定	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
職員の再任用に関する条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
個人情報保護条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
支所設置条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
手数料条例の一部改正		可決	9月30日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
保健センター条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不妊治療費助成に関する条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
児童館条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市営住宅条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
奨学金・入学準備金貸付基金条例の一部改正		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡（旧米山中学校木工室棟）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産の無償譲渡（旧豊後大野市犬飼農林水産物直販所）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の廃止		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
市道路線の認定		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度上水道特別会計未処分利益剰余金の処分		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年度病院事業特別会計資本剰余金の処分及び資本金の減少		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度一般会計補正予算（第2号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
平成27年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度介護保険特別会計補正予算（第2号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度農業集落排水特別会計補正予算（第2号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度公共下水道特別会計補正予算（第2号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度浄化槽施設特別会計補正予算（第2号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度簡易水道特別会計補正予算（第1号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度太陽光発電事業特別会計補正予算（第1号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度病院事業特別会計補正予算（第1号）		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
損害賠償の額を定めることについて		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願書（地方財政の充実・強化を求めた国への意見書提出に関する請願）		採択	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豊後大野市政治倫理条例の一部改正		可決	9月30日	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
地方財政の充実・強化を求める意見書		可決	9月30日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※賛否一覧は議会ホームページや議会事務局にてご覧いただけます。

10名の議員が市政を問う

9月7日から9日の3日間にわたり行われた一般質問には10名の議員が登壇し、コミュニティバスや雨水排水対策、農業振興など23項目にわたり、執行部と活発な論戦を展開しました。議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁を要約して掲載しておりますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしております。

なお、車いす用のスペースも設けていますので、車いすをご使用の方もお気軽にお越しください。

一般質問

● 朝倉秀康 (14ページ)

- ・コミュニティバスの進捗は
- ・どうする市道の草刈り

● 衛藤竜哉 (15ページ)

- ・大分市との都市広域圏構想の取り組みは
- ・住民が不安な「特定空き家」への対策は

● 恵藤千代子 (16ページ)

- ・18歳に選挙権
- ・創立10周年の三重総合高校への支援は
- ・三世代同居、近居の促進を

● 衛藤正宏 (17ページ)

- ・快適な生活環境を次世代へ

● 宮成昭義 (18ページ)

- ・特色ある町づくり構想
- ・公共施設の整備・処理は
- ・過疎計画の事業達成状況は

● 神志那文寛 (19ページ)

- ・下赤嶺地区の雨水排水改善を
- ・FMラジオ受信の改善を

● 小野勇治 (20ページ)

- ・59歳管理職の退職勧奨は廃止すべきでは

● 内田俊和 (21ページ)

- ・市長からの要求に基づく監査結果について
- ・豊後大野市の農業振興をどのような目標をお持ちですか

● 長野健児 (22ページ)

- ・電気柵の安全性について
- ・本市農業の今後について
- ・豊後大野市職員人事について

● 首藤正光 (23ページ)

- ・合併10年を振り返って
- ・定住促進について
- ・市営住宅管理センターについて

※ 一般質問＝議員個人が市の行財政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関に対して行う質問。一般質問は各定例会で行われ、本市議会の場合、質問時間は答弁も含め1人60分以内の一問一答方式で行っている。

コミュニティバスの進捗は

～ 国土交通大臣から表彰 ～



あさくら ひでやす
朝倉秀康

市民クラブ

質

昨年本事業で、持続可能な公共ネットワークを実現したということで国土交通大臣から表彰されましたが、その後の進捗状況を伺うのか。

答

市長

① 4月から三重町川辺区内、緒方町天神区内への乗り入れ、10月から朝地町でスクール

質

バスとコミュニティバスの混乗方式に切りかえ、路線を現在の5路線から10路線に増やします。また、道幅の狭い地域の乗り入れ等で14人乗りのワゴンタイプを2台追加運行する予定です。

② 利用者が少ない路線やバス停は見直しや廃止を検討しますので、それぞれの地域で積極的に利用していただきたいと考えています。

③ 新規乗り入れなどは自治委員を通じて要望書の提出があれば、協議等行っています。

本年10月の見直しでは要望をもとに、菅尾線など3路線で新規乗り入れを行う予定です。

朝地町のスクールバスは学校まで乗り入れているが、信号機のパス停で全員降ろし登り

どうする市道の草刈り

～ 小規模集落応援隊を派遣 ～

答

教育長

再度検討して、できればそういう方向で考えています。

質

過疎高齢地域では、懸命に市道の草刈りに頑張っているが、気力体力の衰えで不安な日々を送っている限界集落への市の対応は。

答

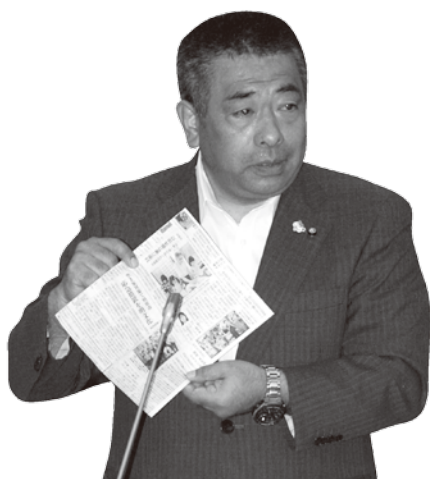
まちづくり推進課長

現在2006の自治会のうち、86が小規模集落で集落の共同作業が

困難になっていることから、小規模集落応援隊事業に取り組み、さまざまな活動団体を派遣し、集落の方と共同して道路の草刈りなどをしたいと思っています。今後は小規模集落の対策を総合戦略に盛り込み、地域活性化に向け取り組みます。



応援隊による草刈り（朝地町）



や 竜 藤 衛

市民クラブ

大分市との都市広域圏構想の 取り組みは

～ 大分市と連携市町との1対1の

連携協約を締結することになります～

質

国は新たな広域連携「連携中枢都市圏構想」を推進している。拠点都市の一つに大分市が選定され、大分市と別府市、臼杵市、津久見市、豊後大野市、由布市、日出町、竹田市の7市町と連携都市圏の新たな行政の枠組みを構築し取り組むと聞いた。

豊後大野市にとっても大きな期待のできる構想で、これからの協議の推移を見守りたい。現時点での構想、思いを伺う。

答
市長

協約は、地域の実情に応じた圏域全体の経済を牽引し、住民の暮らしを支える観点から、中枢都市と連携先の市町がそれぞれ役割分担をしながら三つの連携項目について、想定される分野や施策に関する協議を行います。

本市では特に、回遊型観光とツーリズムの広域連携、災害対応への広域連携、救急医療体制、消防の広域化、公共交通の確保、既存する公共施設の広域利用、ごみ処理の広域化について連携協議を行いたいと考えます。



大分都市広域圏推進会議

質

国が、空き家等対策の推進に関する特別措置法を公布した。それにより各自治体は、特定空き家等に対する措置に関する適切な実施に向け、どのような対応策を講じる検討が必要か。

住民が不安な 「特定空き家」への対策は

～ 分布状況や件数を抽出し

事態把握に努めます～

答
建設課長

効率的に調査・把握するためのデータを抽出する業務を委託し、市内全域の空き家等と思われる建築物の分布状況や件数を抽出し、抽出した情報をもとに現地確認を行い、特定空き家等の事態把握に努めます。

本市は豊後大野市空き家等の適正管理に関する条例を平成26年から施行しています。市の実態調査により空き家等の所有者等を調査し、適正な管理を行うための必要な措置について、助言または指導、さらに勧告、命令を行い、従わない者には住所及び氏名を公表することができるとするものです。

18歳に選挙権

～ 投票率向上に取り組む ～



えとうちよこ
恵藤千代子
市民クラブ

質

来年夏の参院選から18歳選挙権が実現される。投票率向上策は。

答

総務課長

大分県選挙管理委員会と連携し、三重総合高校での模擬投票や出前授業の実施を要請するなど、投票率向上に向け、国・県と連携を密にした取り組みを進めます。

新たに有権者になる方に選挙権資格取得通知書（仮称）を送りたいと考えています。

質

本市唯一の高校の支援は。

答

市長

本年5月、地域に根ざした特色ある学校づくりを支援するために各団体の代表者で構成する三重総合高校の明日を拓く会が設立され

創立10周年の 三重総合高校への支援は

～ 三重総合高校の明日を拓く会設置 ～



勉強合宿

ました。本年度は、生徒の学力向上に向けた取り組みとして勉強合宿、外部講師招聘事業などに対する支援が決定されました。

県への要請活動では定員確保の要請と併せて、県教委に明日を拓く会の設立趣旨、現在考えている支援策を説明し、今後、相互に連携して支援できる体制を整えたいと考えます。

質

現在考えている支援策とは。

答

市長

本市が持つ地域資源、例えば馬術部があるのは県内で三重総合高校のみです。また、カヌーの会場を持っているなど、ここを生かした特色ある学校づくりができないかと思っています。

三世代同居、近居の促進を

～ 新たな補助制度の創設を検討 ～

質

本市で育った人に地元に残ってほしい。帰ってきてほしいと願っている。三世代同居、近居の促進を。

答

まちづくり推進課長

少子高齢化が進む中、同居、近居をすることで子育てや高齢者の見守りなどの支え合いができることから、Uターン者の同居、近居の促進を支援するための新たな補助制度創設を、市内在住者の皆さんとの整合性を考慮した上で検討していきたいと考えています。

快適な生活環境を次世代へ

～ あらゆる方策を実施、検証し、最善尽くす～

質

三重原の悪臭問題は本市の重要課題である。市、議会としても避けて通れない解決に向けた現状と今後の対策について伺う。

答 市長

現在行っている対策は養豚場では、消臭効果のあるゼム酢素やマイエンザを豚舎内へ散布し、毎日のこまめな清掃や徹底した場内洗浄を行っています。また、新たに急速堆肥化装置から排出される臭気対策として、

ロックウールと微生物を利用したロックウール脱臭装置の実証試験に取り組んでいます。最終的にはアンモニア濃度を現在の平均200ppmから平均10ppm以下まで軽減できる計画で対策を行っています。

市としては、今できる対策を一つ一つ実践し、地元住民、事業者との連携を図りながら、問題の改善、解決に向けて、あらゆる方策を真摯に実施、検証し、地域住民の快適な生活環境づくりのため、引き続き最善を尽くしていきます。



ひろまさ 正 宏
えとう 衛 藤

三岳会

質

豊後大野市を流れる大野川水系の河川整備、水質保全、生態系をどう守っていくのか伺う。

答 市長

水質保全は、大野川水系での水質測定を県などが実施しており、

ほとんどの地点で環境基準を満たしています。地域の河川環境や生態系などを保全するために、清掃活動、川辺に花いっぱい運動、不法投棄防止、廃食油の適正処理など、さまざまな活動が地域で実施されています。各地域

での活動を通して、河川の豊かな水環境などが守られています。市としては、今後とも各団体や県などとの連携を十分図りながら、河川の環境保全や水質保全などに努めています。と考えています。

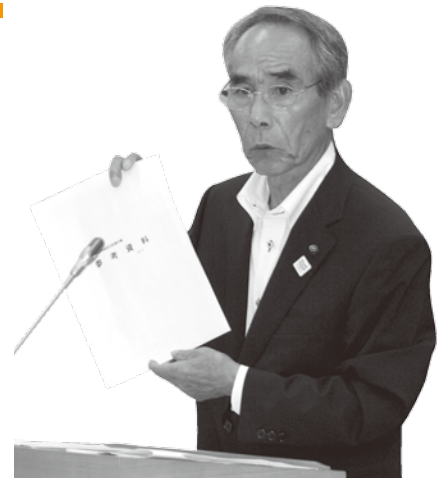


三重川（市役所付近）

質 合併10年、豊後大野市を語ることができて、我が町を語ることができない今、各町を語れるビジョンを策定すべきではないか。

特色ある町づくり構想を

～ 戦略的施策として検討 ～



みや なり あき よし
宮 成 昭 義

市民クラブ

答 市長

10年後に実現したい地域社会のイメージを「やすらぎを実感する人と自然にやさしいまち」、「充実を体感するたくましいまち」、「きずなを共感するともに築くまち」と想定し、まちづくりを推進してきました。

各町に構想や地域ビジョンを策定することは現時点では考えていませんが、各町のまちづくり協議会では、まちの特徴をいかした地

質 旧中央公民館、旧清川中学校及び大野支所の取り扱い。

公共施設の整備・処理は

～ 撤去や解体・協議検討する ～

域づくりを検討されています。今後は内容等を精査し、地域活性化に向けた戦略的施策として検討していきたいと考えています。

答 財政課長

旧清川中学校校舎等の解体工事は本年10月頃から開始、旧中央公民館と大野支所は早期に解体したいと考えています。跡地利用は今後検討していきたいと考えています。

質

屋外スポーツ施設の改修状況は。

答 社会教育課長

三重総合グラウンド陸上競技場内の老朽化した鉄棒器具は検討した結果、撤去することとしました。千歳総合運動公園野球場のスコアボードは、現時点での改修は困難ですが、人気のある施設のため、今後関係課と協議を重ね検討します。



質

第2次過疎計画の達成状況及び第3次過疎計画の現状の検討状況は。

答 地域創生課長

事業達成状況は本年度までに実施されている事業で、本市が事業主体となっているもの79事業のうち66事業が実施、達成率は83.5%です。

第3次過疎計画は、事業調査、協議を行い計画策定していきます。

過疎計画の事業達成状況は

～ 全体で83.5%を達成しています。 ～



こうじなふみひろ
神志那文寛

日本共産党



下赤嶺地区の雨水排水改善を

～ 地域全体の排水路網を調査し、
改善対策に取り組む ～

質

冠水や側溝からの噴出の、把握と対策は。

答 市長

噴出や冠水は、側溝の縦断勾配が変化する箇所や、合流する箇所で見受けられます。今後、地域全体の排水路網を調査し、特に用水路として使用していた水路の用途廃止や、水量の調整が可能か検討し、改善対策に取り組みます。

質

商業業務地の形成により、三重川への排水増加が想定されるが。

答 市長

1 工区は、排水断面の不足する既存水路のかさ上げや集水桝の改修が計画されています。2 工区、3 工区は、1 工区と同様に外周に側溝を入れ、三重川の樋門部分に放流すると聞いています。

質

下赤嶺東区内のホテル進出による雨水流出増加への対策は。

答 市長

土地開発許可申請にあたり、市の意見書、同意書が求められました。検討の結果、計画雨水流出量は現行の側溝断面の8割で流下できることが確認されたので、同意したところです。さらに下流部の低地部分は排水路網を調査し、改善対策を検討します。

FMラジオ受信の改善を

～ 避難場所でFM放送が聴取できるか、
早急に調査する ～

質

池を電源として使用すれば、一般のFMラジオとして使用できます。避難場所指定している施設では、本機でFM放送が聴取できるか、早急に調査します。

答

情報推進課長

受信状態が悪い国道、県道、主な市道沿いにおいて、FMラジオ電波を送出する検討を。

質

避難場所・施設において、各家から持ち出した「音声お知らせ端末」はFMラジオを受信できるか。

答

情報推進課長

本機は、ケーブルの接続から切り離し、電

なお、国が自治体による中継局の設置について研究を始めているとのことであり、制度化された際は、需要や設置費用を調査、研究したいと考えています。

59歳管理職の退職勧奨は 廃止すべきでは

～ 強制ではなく協力の範ちゅうである ～



おのゆうじ
小野 勇 治

緑政会

質

退職勧奨制度は早期退職する事情がある場合などはあっていいと思うが、管理職は59歳という慣例は他の自治体で例はあるか。また、再任用を利用した方はいるのか。

答

総務課長

県下14市のうち、管理職に限定して勧奨している実態は今のところ見受けられません。再任用は、制度はありますが運用していません。

質

現行の社会保障制度である年金制度と連動していない。65歳定年が言われている中で逆行しているのでは。制度を拒否した方はいたか。

答

総務課長

協力をお願いです。で、拒否したということではないと思っています。

質

結果的に強制になっている。60歳まで働きたいという権利の侵害にならないか。60歳まで希望する管理職が出る場合の対応は。

答

市長

あくまで協力をお願いするもので、行革が完遂できるまで協力をお願いします。

質

将来の職員構成が住民サービスはもとより、市役所の組織運営に影響が生じると考えるが、土木技術職で20歳代が1人もおらず、合併から1人も採用がない現状は早い解消が必要と思うが。

答

総務課長

年齢が上がってきている実態はあります。しかし、今年度は支所の土木技術職員を本庁に集約することも踏まえ、事務効率化はクリアできているかなと思います。

その他の質問
広報7月号の市民病院の健診に係る宣伝について

質

女性管理職の登用は積極的に行うべきで、ぶんごのおの生き生きプランの数値化目標があるのか。

答

総務課長

管理職の部分は数値目標に含まれていません。

質

平成28年度から数値化目標が義務付けられる。現状の女性登用のポイントは。

答

総務課長

男女で差別することはありません。管理職候補の年代で女性の構成比率が少ない実態があります。その中でも有能な人材を登用していく方針は変わりありません。





うち だだ とし かず
内 田 俊 和

緑政会

市長からの要求に基づく 監査結果について

～ 公金であることを深く認識し、
厳正なる取り扱いを行う ～

質

市長に対し措置を求める事項、監査委員からの適切な措置を講じられたいとの要請について、どのように対応しているか。
補助金の返還は求めたのか。

答
市長

平成26年度観光協会運営補助金に対する監査結果報告では所管課における要綱の未整備及び指導監督不足等も指摘されており、執行部として深く反省し、

質

ぶんど大野里の旅公社の補助金についても交付要綱を定めているのか。

答
市長

補助金に適用となる要綱は未整備でありましたが、本年3月に整備しました。

質

補助金交付事務に適正を欠く事例が認められることから、他の補助金交付団体においても、同様の状況が懸念されると監査指摘されたことを真摯に受け止め、市民の信頼に応える対策について、どのように考えているのか。

答
市長

市民の皆さまから納付された税等を財源として補助金制度が成り立っていることを再認識し、その執行や確認事務は、慣例的な事務処理に終わらない意識の改革が必要であると考えています。

豊後大野市の農業振興を どのような目標をお持ちですか

～ 担い手の確保・育成を ～

質

農業振興は少子化、高齢化によることが課題ですが、今日の対策はどのようなものになっているか。

答
農業振興課長

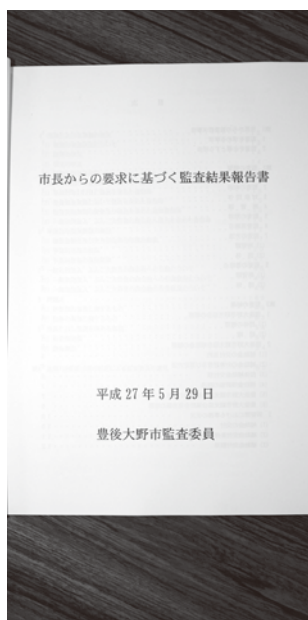
農業の現状について、問題や課題を整理すると共に、農業構造の確立に向けた取り組みとして、担い手の確保・育成に取り組みました。

質

地域創生で何か取り組みを考えはありますか。

答
市長

地域ブランドの確立と販売戦略の構築に取り組むこととしています。



質

静岡県西伊豆町の電気柵事故を受けて、市としてどのような対応をしたのか。

電気柵の安全性について

～ 適正な設置と管理を住民や設置者に周知 ～

答

農林整備課長

電気柵に関する文書を回覧し、電気柵に対しての注意喚起を行いました。また市のホームページにも電気柵の安全な設置方法の周知を行いました。



ながの けんじ
長 野 健 児

政友会



三重町宮野

本市農業の今後について

～ 「人づくり」「ものづくり」

「システムづくり」を進める ～

質

第3次農業振興計画の策定に当たっては第2次計画の検証をし、それに基づいて次期計画の策定を行うべきと考えますが、その取り組みについて伺う。

答

市長

第2次計画で人づくり、ものづくり、システムづくりを基本に取り組んできました。第3次計画策定に当たっては、これまで取り組んできた内容を検証し、次期計画につなげなければならぬと考えています。検証方法は、内部評価と外部評価に分けて行います。

質

行革を進める中、職員の機動性がお一層求められる。適材適所でロスのない人事の工夫が必要と思うが、どのようなことに配慮しどの組織で行うのか伺う。

豊後大野市職員人事について

～ 適材適所の職員配置を行っている ～

答

市長

行政を担う職員一人ひとりの意識改革と、資質及び能力の向上を図り、思索し実行する職員を育成することが必要不可欠です。

具体的な手法は、全職員から職員調書の提出を求め、これらの資料に基づいて各部署の職階及び年齢構成、男女共同参画の推進に基づく方針、一部署への長期配置職員の処遇や職員の持っている資格等を考慮し、職員の適性や、能力開発につながる適材適所の職員配置を行っています。

具体的な人事案は、管理職は市長が、一般職は総務課長及び総務課人事給与係が作成し、市長決裁後に内示を行っています。



光 正 藤 首

緑政会

質

この合併は成功であったのか、どのように考えているのか。

合併10年を振り返って

～ 市民皆さまのこれまでの活動が、
一体感の醸成を深めている ～

答 市長

合併前の平成16年度と平成26年度の決算状況を比較すると、人件費は約13億円、公債費は約11億4千万円削減されました。

また、地方債現在高は起債シーリングの設定や繰上償還等により、平成16年度は約383億円あったものが、平成26年度は111億円削減され、基金残高では平成16年度は約52億3千万円でしたが、平成26年度は約123億6千万円増加しています。

答 市長

6月には、石破地方創生担当大臣の特別講演会が開催されました。本年度、1年間を通して市民の皆さんと一緒に、合併により誕生した豊後大野市の10周年を祝いたいと考えています。

質

合併10周年記念事業について、今後どのようなことを行うのか。



特別講演会の様子

定住促進について

引き続き協力をお願いする

質

職員にも協力をお願いを。市外通勤者数と市外に住む理由は。

答

総務課長

市職員の市外通勤者は、現在46人が該当します。市外に住む理由は結婚を理由にしたものが最も多く、その要因は男女を問わず配偶者や家族の通勤、通学によるものです。このほか、理由は確認できませんが、合併前から実家からの通勤で市外に居住していた者や、市外に新たに住宅を購入した者もいます。

市営住宅管理センターについて

未徴収金の解消に向け努力を

質

市営住宅管理センターの現状と費用対効果は。

答

建設課長

基本的な徴収方針として、滞納繰越金の累積金額を抑えるために現年度分の徴収に力を入れることとしています。その結果、平成25年度現年度分の徴収率は92・78%でしたが、平成26年度では96・10%であり、管理代行に係る基本協定書の平成26年度の目標指標である93・5%、さらには本年度の目標指標である96・0%を上回っています。

議員定数と地域創生をテーマに 第3回議会報告会を開催



第3回市議会報告会を9会場で開催しました。

昨年に引き続き7町で開催するとともに、今回は試行的に細やかに地域に向くことを目的として、土師振興協議会を対象に開催しました。

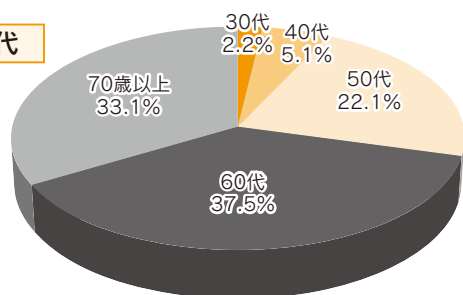
全議員22人を3班に分け、第1部で議会報告（6月定例会の議決状況や各常任委員会の活動など）を行いました。第2部では、「議員定数」と「地域創生に向けてわが町の夢を語ろう」をテーマに意見交換を行い、延べ167人のご参加をいただき、活発な質疑や意見交換が行われました。

ここでは、主な質疑・回答、アンケートの結果について、ご紹介します。

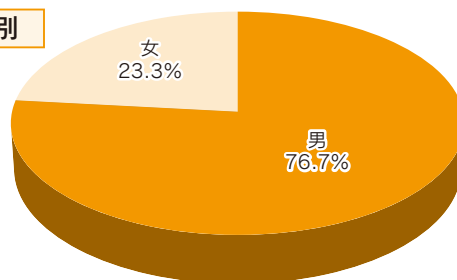
開催日時	開催場所	人数	開催日時	開催場所	人数
8月17日(月)午後7時～	神楽会館	18人	8月23日(日)午後2時～	委員会室	16人
8月19日(水)午後7時～	隣保館	17人	8月23日(日)午後7時～	委員会室	14人
8月20日(木)午後7時～	朝地公民館	29人	8月25日(火)午後7時～	緒方公民館	17人
8月21日(金)午後2時～	土師公民館	22人	8月27日(木)午後7時～	千歳支所	23人
8月22日(土)午後7時～	犬飼公民館	11人			

アンケート集計結果

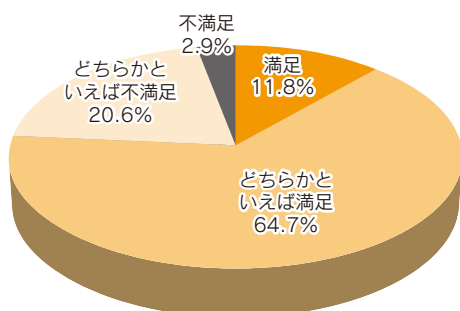
年代



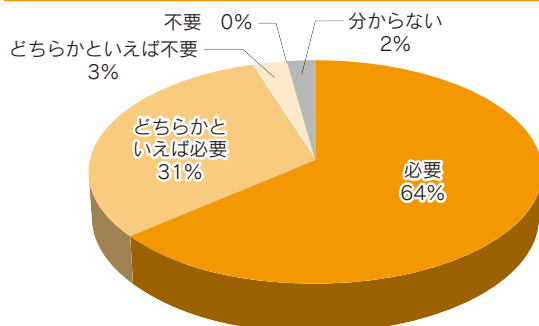
性別



議会や議員の活動について満足していますか



今回の議会報告会の試みをどのように考えますか



● 質疑応答

【質】 地方創生でどれほどの予算が組まれているのか。

【答】 平成26年3月時点で、地方創生関連の予算としては、地域消費喚起生活支援型として

生活支援商品券給付事業1億524万8千円、商工業推進事業4478万7千円、また地方創生先行型として定住促進住宅補助事業1202万円、定住促進空き家対策事業2271万8千円、オリジナル住宅構想事業735万6千円、子育てホットクーポン活用事業987万円となっています。

【質】 介護保険について、平成24年には一般会計から4億5千万円を繰り入れて基準額が6250円になっているが、これからの状況と今後については。

【答】 今、全国で125番目。全国的に介護保険が上がっている。大

分県では確かに1番高い。今後、介護保険料が今のとおり収まるかどうかは難問があるわけだが、担当課としては、介護保険料を上げないためにも、いろんな努力をしている。

【質】 地籍調査ですが、10年が経ったら境界を教える人間はおりません。地籍調査の進捗状況をお知らせ願います。

【答】 市全体で47%の進捗率です。

● 第2部

議員定数への意見

○ 臼杵市が4万960人で18人、一人当たり2274人です。臼杵がこれであるなら、18人でいいのでは。

○ 10年後20年後の人口の状況を見たとき、減っていく。それに伴った人数の減少ということになっていくだろうと思う。議論していただいて、一番その

人口にあった、また常任委員会などの条件ができる最低の定数、それを是非とも決めていただきたい。

○ 議員定数は、現在の22名、豊後大野市は7町村という大型合併です。従って市民の意見をしっかりと議会の中で、検討いただく。22名これは堅持すべきだと思います。絶対に減らさないでください。

○ 各町から定員1名は必ず出る。あとは何人いてもいいが、その定数を各町にささげていただきたいと思う。

○ 類似する市ととりあえず同じにする。そして、豊後大野市の財政をみながら、増減を検討する。

○ 10名が妥当だと思います。6人でよいという人もいます。だからもう少し濃い、濃密な動きをしていただきたい

いと思います。

○ 議員定数もほんとに市民に寄り添って、議員がこんな活動したんだと身近に感じたのであれば、必要だなってことは出てくるんですけど、存在している密着感というかそういうものがなかなかない。

● 地域創生への意見

○ 県立農業大学校、これは本当にすばらしい大学校があるわけですから、この連携をとって、埋もれている施策をそこに集約して、市に残る人には、授業料免除ぐらいの思い切った施策を展開しながら、後継者を育てていくとか、農業に力を入れてほしい。

○ 年金の支給開始がどんどん繰り下がっています。定年して帰ってきてても、ある程度仕事しないと、年金だけでは生活ができない。

農業すればいいというもの、もう何十年も離れた人間が農業で生計を立てられるかというと、なかなかそうはいかない現状だと思う。だから、勤めるところがたくさんあればいいが、なかなかいいの帰りたいけど帰れない現実の中で生活ができない。

○ 保育園や親などに子どもを預けることができないかったり、預ける場所がないことで、よそに出ていくということもあると思います。自分の親だけでなく地域の、まだまだ元気だけれども仕事をされてない方に気軽に預けることができるような場所が提案できれば、豊後大野市で子育てもしながら働くこともできるだろうし、Uターン、Iターンも視野に入れた地方創生も必要かなと思います。

○ 産業振興と住民の

ケア、この2つがお互いに発展していけば、非常に住みやすいまちになるのですけど、産業振興は本当に取り組んでほしいなということと、女性の働く場所を。

質疑や意見の中で、執行部に送付することが必要と判断したものは、市長に送付しました。



清川会場の様子



朝地会場の様子

REPORT 視察研修

平成27年7月15日～7月17日

秋田県横手市・岩手県花巻市

議会活性化委員会

横 手市議会では議

会基本条例を平成24年に施行し、翌年には議会改革に関する特別委員会を設置、その中で広報部会と公聴部会に分かれ、広報部会は「議会だより」FM放送、ホームページを担当し、公聴部会は議会報告会や意見交換会を担当しています。

また政策条例を制定し内容は「スポーツ立市横手」でまちを元気にする条例です。議会報告会は、平成26年度では小学校区全20会場で開催をし、400人を超す参加者であったとのこと。

**花** 巻市議会での研

修ですが、議会改革については平成14年からインターネットによる議会中継を行い、その後には議場へのパソコンの持ち込みの許可、一般質問での一問一答方式の採用、予算決算特別委員会のインターネット中継を行っています。

平成22年に議会基本条例を制定、同年、議会改革推進会議を設置し、議会改革に取り組んでいます。条例制定後の取り組み状況は、正副議長立候補者の所信表明の実施、反問権の付与、議会報告会については年2回の開催により、思うように議会改革が進まないことから、広報広聴特別委員会に所管替えをしています。

東京都台東区議会議員の皆さんが本市を訪問

8月6日、東京都台東区議会議員の皆さんが本市に訪れました。

台東区は朝倉文夫氏が61年の故朝倉文夫氏が61年間暮らしていたことで、昭和62年に友好都市を締結しました。現在も文化交流や人的交流、物産交流などを行っています。

今回、台東区議会からは平成27年4月に行われた区議会議員選挙で初当選された議員6名と副議長が本市を訪問されました。



朝倉文夫記念館

台東区議会の皆さんは朝倉文夫記念館や原尻の滝など視察され、視察後は市役所内で意見交換が行われました。本市議会からは議長、副議長、各常任委員長、執行部からは市長、総務課長などが出席し、活発に意見交換、情報交換を行い、友好を深めました。



行政視察受け入れ

8月20日に福岡県筑紫野市議会の会派つくし野の議員の方々が庁舎建設とコミュニケーションバスについて、8月26日に佐賀県伊万里市議会地方創生調査特別委員会の方々がインキュベーションについて、それぞれ視察するため来庁されました。



伊万里市議会



筑紫野市議会

所管事務調査

(総務常任委員会)

運営状況など現地調査

7月6日、総務常任委員会が所管する施設の管理運営状況などを詳しく調査するため現地調査を行いました。

今回、総合文化センターエイトピアおおの、消防本部及び東分署、朝倉文夫記念館、ケーブルテレビセンター、神楽会館を順次視察し、現地でそれぞれの担当者に概要説明を受けました。



所管事務調査

(産業建設常任委員会)

繰越事業の状況は

7月22日、産業建設常任委員会では建設課、農林整備課、商工観光課、上下水道課、農業委員会の所管事務調査を行いました。

建設課と農林整備課では、主に平成26年度繰越事業について、繰り越したくなった要因など調査し、商工観光課、上下水道課、農業委員会については、新規事業や重点事業を調査しました。



福祉施設を訪問

(厚生文教常任委員会)

9月8日、厚生文教常任委員会では、NPO法人オーバーが運営するホットホームもたろう(清川町)を訪問し、代表者から当該施設の概要や現状などについて説明を受けました。現場の声や施設の様子、また利用されている方の表情にふれることができました。

当施設では、小規模多機能型居宅介護をはじめ、様々な事業に取り組んでいます。



議会日誌

7月

- 2日(木) 議会運営委員会
本会議(討論、採決)
全員協議会
- 6日(月) 総務常任委員会
- 7日(火) 厚生文教常任委員会
- 8日(水) 議会広報編集特別委員会
- 9日(木) 議会活性化委員会
福岡県うきは市議会行政視察来市
- 10日(金) 議会広報編集特別委員会
- 15日(水) 議会活性化委員会行政視察
(秋田県横手市議会)
- 16日(木) 議会広報編集特別委員会
議会活性化委員会行政視察
(岩手県花巻市議会)
- 22日(水) 産業建設常任委員会
- 23日(木) 議会活性化委員会

8月

- 4日(火) 厚生文教常任委員会
- 5日(水) 議会活性化委員会
- 6日(木) 東京都台東区議会表敬訪問
- 17日(月) 第3回議会報告会(清川会場)
- 19日(水) 第3回議会報告会(大野会場)
- 20日(木) 福岡県筑紫野市議会行政視察来市
第3回議会報告会(朝地会場)
- 21日(金) 第3回議会報告会(大野土師会場)
- 22日(土) 第3回議会報告会(犬飼会場)
- 23日(日) 第3回議会報告会(三重会場)
- 25日(火) 議会運営委員会
第3回議会報告会(緒方会場)
- 26日(水) 佐賀県伊万里市議会行政視察来市
議会活性化委員会
- 27日(木) 第3回議会報告会(千歳会場)
- 28日(金) 議会運営委員会

9月

- 1日(火) 本会議(議案上程)
全員協議会
議会広報編集特別委員会
議会運営委員会
- 7日(月) 本会議(一般質問)
- 8日(火) 本会議(一般質問)
常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)
- 9日(水) 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 11日(金) 本会議(議案質疑、委員会付託)
議会活性化委員会
- 15日(火)～17日(木)
常任委員会(総務・厚生文教・産業建設)
- 18日(金) 議会運営委員会
- 24日(木) 決算特別委員会(特別会計)
議会活性化委員会
- 25日(金) 決算特別委員会(一般会計)
- 30日(水) 本会議(討論、採決)

市や議会に対する

市民皆さまの思いを紹介



地域とのふれあいを大切に

新田小学校は、毎年10月に地域の方とふれあいを深める「新田ふれあい広場」があります。地域の方が楽しい遊び道具の作り方を教えてくれて一緒に作って遊ぶのです。

昨年、僕は紙でつぼうを作りました。作るときに、教えてくれる地域の方が「そこ気をつけて竹を切って」と注意してくれたり、「うまいなあ」とやさしく話しかけてくれたりしているので、楽しく作ることができました。作り終えたら、それで遊びます。遊んでいるときも、うまく飛ばなかったら、「こうしたらうまく飛ぶよ」と教えてくれます。それでだんだん上手にできるようになりました。遊び終わったらみんなでだんご汁を食べました。そのだんご汁も地域の方と一緒に作りました。

地域の方がやさしく接してくれて楽しく作れて、本当にふれあいが深まる会でした。

僕は、卒業しても地域とのふれあいを大切にしたいです。



新田小学校 6年

矢野 稜

歴史ある取り組みに誇りを持って



大野中学校 3年

衛 藤 竜 彦

私たち大野中学校では、毎年文化祭で人権劇をしています。人権劇は学年ごとに取り組んでいて、特に2年生は学校の代表として毎年解放文化祭に参加しています。私たちの学年は、昨年「ヨイトマケの唄」という劇をしました。他にも部落差別や、さまざまな病気の人に対する差別などを学習し、劇を通して地域の方々に発信しています。

私は、この人権劇を通して、差別というものは、決してあってはならないし、してはならないことだということを改めて学びました。差別を根絶していくために、私たちにできることは、差別に関して学習していくことだと思います。学習していくことで差別がどれだけ、人々の心を傷つけ、不快な思いをさせるものかが、分かります。私自身が一番成長した点は、人の気持ちになって行動するという事です。人権学習を通して学んだことは、今後の人生に生かせると思います。今年は最後の年なので大野中学校の伝統ある、この人権劇に誇りを持って取り組みたいと思います。

広報編集特別委員会
委員長 内田 俊和
副委員長 川野 優治
委員 小野 泰秀
委員 小野 義範
委員 朝倉 秀康
委員 小野 勇治

議会を傍聴してみませんか？

次回12月定例会は、12月1日に開会予定です。

手続きは、受付にて住所と名前を書くだけです。 TEL 0974-22-1001
お気軽に議会事務局にお尋ねください。 市内無料電話 9-22-1001